

第7期 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 川崎寺子屋食堂

1 事業の成果

期中の2023年4月からは1会場を全面的に対面授業とし、もう1会場をon line授業とし、教務力の向上と運営の効率化を図っています。現在はon line生7割、通学生3割となっています。On line生には前期に引き続き月2回の食材配布会で、通学生には夕食会（または弁当持ち帰り）で食事確保を図りました。また、同月からはon lineクラブを野外イベントに変えて実施し、開放感を満喫してもらいました（筍堀大会、ボーリング大会など）。

当期は過去の寄付金集め運動が奏功し、大幅な収益増加になりました。

また、ボランティアは今期から国際化が進み、生徒に良い刺激となっています。

2023年8月末 生徒数 28名、ボランティア 50名（内、外国系 5名）です。

合格祝い（2023年3月中華料理店にて） 県立高校合格者 8名



2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

通学生（いこいの家） 136回 延べ人数 547名

On line 生 250回 延べ人数 1342名

① 継続的に無償で食事を提供する事業

いこいの家への通学生は、すかいらくレストランズと引き続き提携を行い、栄養価の高い食事を毎回提供しました。一方、on line 生は月2回の食材配布会でお米や肉野菜セ

ットを提供しています。

・費用額 1,906,064 円（主にケータリング費・食材配布会費・ボランティア交通費等）

② 学習する場を提供する事業

通学生はいこいの家で個別指導の学習を行なっています。On line 生は1クラス平均1.6名のきめ細かい授業を行なっています。この on line 授業にはインド人・中国人・韓国人・インド系アメリカ人などが学習ボランティアとして参加し、国際感覚の溢れる学習環境となっています。

・費用額 727,407 円（主に書籍代・広告費・ボランティア交通費等）

③ 学習指導及び学習サポート事業

社会人や定年退職者のボランティア以外に、新型コロナウイルス以降は学生のボランティアが急増しました。41名の学習ボランティアの内、半数近くの19名が学生のボランティアとなっています。また、運営ボランティアとイベントボランティアが9名となっていて、合計50名の体勢で学習指導やサポートを行なっています。尚、自宅にWiFi環境のない生徒にはPCやルーターを無償で貸し出しています。今後その需要が増えるものと見ています。

・費用額 1,441,037 円（主にイベント費・書籍代・広告費・ボランティア交通費等）

④ 全国に寺子屋食堂を普及させるための支援事業

2023年4月までは新型コロナウイルス感染者の外出禁止があり、広域移動が抑制された状態が続いていたので、第7期の活動も前期同様中止しております。

・費用額 0 円

野外活動の様子 (2023年4月)



(2023年6月)



菅教場の学習ボランティア（2023年8月）



以上